

「消失点—日本の現代美術」が インドで開催されます



ヤパンファウンデーションでは、今秋、日印交流年の一環として、

①展覧会、②5名の作家によるインド各地での滞在制作、③滞在制作の成果発表、という3つの要素からなる美術交流事業を実施します。

ニューデリーでは「消失点—日本の現代美術 Vanishing Point: Contemporary Japanese Art」をテーマの展覧会、ともすれば、内面性を捨象した軽やかで表層的な言説で語られることの多い日本の現代美術の、個々の作品がもつ奥行きに焦点をあてた展覧会を開催します。

歴史の残響、記憶の断片、あるいは、今ここにある体が一種の消失点として、作品にいかにか練りこまれ、観者に作用するのかわいかけつつ、現代を生きる日本の作家たちの活動を紹介します。

Japan Foundation Event Calendar

〈右上〉石原友明
『Self Portrait—二条城
#2』2003年



〈右下〉ノーヴァヤ・
リューストラ
カフェ・リュースト
ラ：1000T4UProject
釜山ビエンナーレ2004
2004年 釜山市美術
館（韓国）



〈左上〉木村崇人
『木漏れ日プロジェクト』
2003年 越後妻有ア
ートトリエンナーレ



〈左下〉祐成政徳
『Friendship』2004年
Bank ART1929



2007年8月～9月

国内

8月

●開催中～8月24日
大韓民国中等教育
日本語教師研修
韓国政府と協力し、回国の中等教育の日本語教師を招へいし、日本語・日本語教授法、日本文化の研修を行なう。7月25日より/日本語国際センター（埼玉県）

9月

●9月22日
『日本語教授法シリーズ』シリーズ9「初級を考える」講座会
執筆者/日本語国際センター専任講師が、教材を使って、教育現場でどんな工夫ができるかを参加者とともに考える/凡人社団町店（東京）

海外

8月

●開催中～8月25日
コンテンポラリーダンス公演「ワークシヨップ『踊りてアゼ!!』」
ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワークが2000年頃から毎年日本国内で実施しているツアー・プロジェクト「踊りに行くぜ!!」初の海外公演。日本の4名の振付家の作品を演およびワークシヨップを行なう/8月17日 パトラフティシアター パンコク(タイ)/10日/11日 アクターズスタジオ バンガサ(マレーシア)/24、25日、ファイリバー国立劇場 スタジオシアター(バトラー) (マレーシア)

9月

●8月21日/9月22日
日本映画祭2007
マレーシア独立50周年、国交50周年を記念して、また今年には「友情」と「集団の力」の二つを軸に、近年に制作された8本の日本映画を上映予定/GSCミッドパレーほか(マレーシア)

●9月25日/10月22日
美麗新世界 当代日本視覚文化 現代美術を中心に、メディアアート、建築、ファッションなどの芸術分野からマンガやアニメーションと

日本語学習支援サイト 「日本語でケアナビ」を開設しました



↑「日本語でケアナビ」に登場するキャラクター、ケアくん

7 月より、ジャパンフアウンデーション関西国際センターは、看護・介護場面や日本での生活に必要な日本語学習を支援するサイト「日本語でケアナビ」をインターネット上に開設しました。

(www.nihongodecarenavi.jp)

和英・英和の辞書機能として約6000の語彙・表現と約2000の例文が収録されています。看護・介護現場の基本的な用語以外にも、職場でのコミュニケーションや気持ちを伝える表現が多く収められており、日本人と一緒に働く人、日本で暮らす人にも役立つ内容となっています。

また、内容となっています。また、例文は初級レベルの文型で提示されています。日本語と英語、どちらの画面からでも利用でき、携帯電話用のサイトもあります。

(nihongodecarenavi.jp/mo/)

文字入力や50音表からの検索以外に、特徴として「タグ」を使って調べることができる要素を表わした「タグ」を使って調べることができる。語彙や表現に共通する要素を調べたり、特定の場面の語彙リストを自分で作成したりすることもできます。

同時に、5人の作家が、インド各地でインドの人々と交流を深めながら作品を制作。インドでの経験をいかに作品のなかに取り込んでいくか。また、それをインドの人々はこのように観るか。ムンバイで開催される成果発表の展覧会は、ニューデリーの展覧会のヴァリエーションです。

● 会期・会場

10月12日(金)～11月11日(日)	ニューデリー国立近代美術館
11月21日(水)～12月15日(土)	プロジェクト88 (ムンバイ)
11月21日(水)～12月5日(水)	チャッタルジー&ラール・ギャラリー (ムンバイ)

● アーティスト・イン・レジデンス (10～11月)

木村崇人(ヴィスワ・バラディー国立大学/シャントニケタン)、小金沢健人(ロージ・スタジオ/ニューデリー)、ノーヴァヤ・リューストラ[中野良寿、安原雅之](オープンサークル・アーツ・トラスト/ムンバイ)、寄神くり(カノーリア文化センター/アムダバード)

● 出品作家

ニューデリー
石原友明、小金沢健人、祐成政徳、田中敦子、中川幸夫、平川典俊、三輪美津子、村岡三郎、村瀬恭子、山口啓介

ムンバイ(予定)
石原友明、木村崇人、小金沢健人、祐成政徳、田中敦子、中川幸夫、ノーヴァヤ・リューストラ、平川典俊、三輪美津子、村岡三郎、村瀬恭子、山口啓介、寄神くり

● キュレーター

金井直(信州大学人文学部准教授)

異文化理解講座 (中南米・アジア・中東) 開講のお知らせ

第一線で活躍する専門家が講師として、海外の国や地域を多様な視点から取り上げる連続講座です。9月からは、中南米理解講座「キューバのすべて」、アジア理解講座「インド・神話と芸能：神々を演じる人々」、「アジアの人口問題」、中東理解講座「シリアとレバノンで何が起きているのか：中東地域情勢の意味に迫る」を、ジャパンフアウンデーション国際会議場(港区赤坂)にて開講します。詳細は異文化理解講座事務局 (Tel:03-5562-0756/Fax:03-5562-4423) まで。www.jpff.go.jp/j/culture_j/topics/lec/

←過去に実施した講座の一部は「アジア理解講座」シリーズとして書籍化



開催中～9月22日
「川内倫子」写真展
日本人写真家川内倫子氏が66年にブラジル各地を回り、日々切り取りつたさまざまなブラジル像を紹介/サンパウロ近代美術館(ブラジル)

開催中～11月21日
第52回ウエネチア・ビエンナーレ
国際美術展 日本館
コレクショナル・港十書一アート
リスト・岡部昌夫が、「わたしたちの過去に、未来はあるのか」『Dark Face of the Light』をテーマに、かつて広島の軍港敷であった、宇品駅のプラットホームの縁石をロッター・ジュ(擦り取)した作品を中心に展示するほか、ウエネチア市内や日本館でワークショップを行なう。会場内ではロッター・ジュの体験もできる。(本誌133ページ参照)

9月29日～10月20日
2007年文楽全米ツアー
大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年、ニューヨーク日本協会創立50周年を記念し、人形浄瑠璃文楽の全米6都市巡回公演を実施。本公演の前夜にはレクチャリー・デモンストラーションやワークショップなどの教育プログラムも企画。米国で本格的な文楽公演を実現するのは、1992年以来15年ぶり/ニューヨーク、ホースン、シヤンペイン、シユイ、パークレ、ロサンゼルス